

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズすてっぷとうひ		
○保護者評価実施期間	令和6年9月15日		令和6年10月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和6年9月15日		令和6年10月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動プログラムがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・外出行事では地域の公園で運動遊びを行い、遊具の使い方を学んだり、楽しく身体を動かせるようにしている。 ・季節行事や制作活動を行い、季節行事を知るきっかけ作りや、創作する楽しさが得られるように心掛けている。 ・食育では、手作りおやつや調理等、子どもたちが一緒に作り、達成感が育まれるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが主体性を持って活動できるように、作る、食べるを楽しむだけでなく、子ども同士の関わりの中で、考え、活動する機会を増やしていく。
2	言語聴覚士や保育士など専門職の配置。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職の視点から、個別や集団での活動のプログラムを立て、支援を行うことができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後さらに充実した支援が図れるように、日々の活動プログラムの工夫を行っていく。
3	子どもたちが安心感を持って、楽しく通所していること。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが様々な経験が出来るように、イベントや活動プログラムを企画し、楽しく過ごせるように工夫している。また、明るい雰囲気や、過ごしやすい環境づくりに配慮し、職員も丁寧に関わって支援することを心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちからの要望を取り入れたり、一緒に考えたりする機会を増やし、より充実した時間を過ごせるように工夫していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が連携を図れる場所や、ペアレントトレーニングなどの機会を提供することがあまり行えていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・両親ともに働いている家庭が多いため、保護者会実施に向けての日程調整等が困難な状況にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催時に保護者交流の場を設けるなどの工夫。 ・スタッフが研修を受けて、ペアレントトレーニング等が出来る体制を整えていく。
2	学校との連携の強化。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学校以外の学校は、下校時に学校の職員と会えないことが多く、日々の情報共有が難しい。送迎時の引き渡しのトラブルや、その日の様子など伝わらないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃より、連携の必要性を提示し、会えない時は電話等での情報共有を図り、トラブル軽減に努めていく。
3	様々な情報の発信力が弱い。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の事業所通信や、毎週のブログなどで活動報告を行なっているが、事前に情報を提供することが少ないため、地域交流の場などへの参加の機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を収集し、発信回数を増やすことで、参加の機会が増えるようにする。